

# 学校だより

東京都立北特別支援学校

令和6年11月29日発行

12月号

校長 小池 巳世

暖かい日と寒い日の気温差が大きく、文化祭後ぐらいから体調を崩す児童・生徒が目立った11月でした。インフルエンザやマイコプラズマ肺炎、手足口病など感染症流行の報道も気になりました。

11月13日から15日にかけて、熊本県で全国特別支援学校肢体不自由教育校長研修会・全国肢体不自由教育研究協議会が行われ、教員と参加してきました。コロナ禍のWEB開催などを経て、5年振りに全国から肢体不自由特別支援学校の校長や教職員が熊本に集まり、各校での実践発表や情報交換などを行い、大変有意義な会となりました。この全国肢体不自由研究協議会は今年度第70回となり、本校ができる前の昭和32年から途切れることなく全国各地で肢体不自由校の授業公開と合わせて行われ、そこで発表されたり話し合われたりした内容が参加した教職員によって各校に持ち帰られ、学校での実践につながっていくということが繰り返し行われてきた歴史があります。

記念講演では、平成28年にあった熊本地震の時に県立支援学校の校長先生だった方から当時の学校や児童・生徒の様子、避難所運営などの状況を伺いました。「医療機器の洗浄に大量の水が必要。消毒で使用する薬剤が個々に異なり確保が難しい。医療チームの巡回時に窮状を伝え主治医訪問につながった。避難所が満員で入れなかった。使用できるトイレが避難所になかった。福祉避難所の情報がなかった。子供と一緒に炊き出しなどの行列に並ぶことができなかった。車で移動できる道路状況でなかった。」など保護者の切実な声の紹介もありました。これらの経験から、熊本市は福祉子ども避難所の開設や運営に関するルールができたそうです。在住区の災害時の（福祉）避難所はどのようになっているか御存知でしょうか。学校は北区と福祉避難所について協議を行っていますが、確認や準備しておくことの多さを改めて感じました。

校長研修会では、教員の人材育成について話し合われました。どこの自治体も教員のなり手が足りなく、学校内で経験年数の少ない者の割合が増えている中でどのような取組を行っているかの報告や意見交換があり、本校での取組の中で参考にしていきたいと思うこともありました。

分科会は、「授業改善」「自立活動」「健康教育（医療的ケア）」「情報教育・支援機器の活用」「地域との連携（含む交流教育）」など10種類が設けられ、私は「キャリア教育及び進路指導」の分科会に参加しました。兵庫県と長崎県の特別支援学校からの発表があり、地方ならではのオンラインを活用した実習等の紹介がありました。また、地域の中小企業団体と連携した校内版キッズニア（のようなもの）を行い、生徒が様々な仕事を体験する中で自分の進路を考えていく取組では、自動車整備会社のタイヤ交換の仕事を希望し体験することで自分の適性を考えるようになったとの話があり、児童・生徒の経験の重要性や自己理解の進め方について考えさせられました。本校での取組のヒントになることや刺激が得られて、このような全国大会で集まることの意義を感じました。

今年も12月を残すだけとなりました。1月元日にあった能登半島地震から1年近く経っても、復旧・復興の難しさが報道されるたびに複雑な思いになります。寒さが厳しくなる時期に入りますので、体調に気を付けてお過ごしください。

# 学校だより別紙

## 高等部 3 年文化祭報告

高等部3年生にとっては最後の文化祭です。今年度は学年活動の時間が少なく、舞台練習を積み重ねることが難しい中、少ない時間で協力して劇を作り上げました。今年度のテーマは「K-600」。北特別支援学校に現れた巨大生物の心を学年全員で浄化させるのが目的です。その中で協力することや助け合うことなどの大切さを学び、そのことを後輩たちに伝え、忘れないために花を咲かせます。高等部3年生のメッセージは伝わったでしょうか。たくさんの御声援が心強く、精一杯の演技ができました。ありがとうございました。

## 中学部 3 年文化祭報告

中学部3年生は、「中3タイムトラベラー」と題して、修学旅行の帰り道から始まる時代を超えた物語を作り上げました。ラジカセの爆発から各時代に飛ばされたみんなが現代に戻ってくるために必要なものは、各時代で助けた人々からもらった宝物。みんなが飛んで行った縄文時代、戦国時代、昭和時代それぞれの時代の中で、生徒の得意なことを活かして活躍し、見事宝物をゲットすることができました。毎日コツコツ練習したセリフ、繰り返し練習したスイッチなど、練習の成果が実った本番でした。事後学習の感想は開口一番に「楽しかった!」という言葉にも頼もしさを感じた文化祭でした。大きな御声援と拍手をありがとうございました。

## 小学部 6 年文化祭報告

小学部6年生は「私たちは北の6年生! ~記憶のカケラを集めよう~」と題して、舞台発表をしました。小学部最後の舞台発表ということで、みんなドキドキした様子で臨みました。多くの保護者が見ている中での発表は、リハーサルの時とは違った緊張感がありましたが、笑顔で取り組んだり、大きな声で台詞を言ったり、一生懸命手を動かしたりと、全員が今までの練習の成果を出し切って発表をすることができました。一人一人の成長を感じる機会となり、まさに「だい、せい、こう!」の発表でした。たくさんの温かい御声援、ありがとうございました。

## 小学部 3 年文化祭報告

「青いたぬきと黄色いこねこ」の劇発表をしました。最初に話しの流れを聞き、自分たちの配役のイメージをもって練習に望みました。小学部初めての舞台発表でしたが、友達と一緒にいることが支えになり、落ち着いて練習を重ねることができました。本番当日は、7名全員が勢揃いして一人一人の演技を発表できました。最後はみんなが大好きな歌を歌って「ありがとうございました。」を笑顔で伝えることができました。みんなで協力して作り上げてきた発表を、御家族の温かい応援の中で見ていただくことができました。

## 高等部 1 年移動教室の様子

10月15日から2泊3日で品川方面に移動教室に行きました。過ごしやすい天気恵まれ、全行程を予定どおり行うことができました。マクセルアクアパーク品川では、トンネル状の水槽の中を泳ぐマンタやのこぎりエイを背景に写真を撮ったり、買い物を楽しんだりしました。一番の目玉はイルカショーでした。水しぶきを上げてジャンプするオキゴンドウや3匹で並んで立ち泳ぎをするカマイルカたちを、生徒たちは歓声を上げながら一生懸命に目で追っていました。日本科学未来館では、吹き抜けの天井から吊るされた直径6メートルの地球儀が、どんどん色を変える迫力のあるパフォーマンスが圧巻でした。最終日は宿泊場所のBumB 東京スポーツ文化館でクイズやゲームを楽しみました。フラインプレーがたくさんあり、あっという間に時間が過ぎていきました。思い出いっぱいの楽しい3日間になりました。

## 図書室より

### ☆図書室（学校図書館）の一日☆

朝、係の職員が貸出端末を立ち上げるところから、図書室（学校図書館）の一日が始まります。

本校の子供たちが登校して、教室に向かうまでの途中二か所（1階の正面玄関前と廊下の「本の森」）に季節や特集の本が並んでいます。授業や給食当番など、本のコーナーを見ながら教室移動し、授業や係の仕事終わりに借りていく子もいます。

第二、第四火曜日の午前中には、学校図書館支援員（司書）が、年間を通して来校しています。今年は、図書ボランティアの方も地域から一人加わり、絵本の読み聞かせの他、手遊びや歌遊び、中・高等部では仕事や働き方、余暇の過ごし方に関する本の紹介のブックトークも始めました。

図書館利用の仕方は多様です。

教職員と一緒に、毎日時間を決めて訪れたり、一人で一日に何回も本を借りて返しに来たり、体育館や自立活動室へ行く途中に立ち寄るなど、グループの授業としての「読書の時間」に、10名程で来室し、図書室内で先生と読み聞かせを楽しむグループもあります。「読書マラソンのシール、もう少しで完走だから、〇日までにあと〇冊読まなきゃ！」と、学期末は駆け込んでくる子もいます。

子供たちが下校した後は、教職員が、教材としての資料を探しに来たり、休憩コーナーの椅子で、打ち合わせなどをしたりするのに利用しています。16時30分に、貸出システムを閉じ、図書室（学校図書館）の一日が終わります。今日も、たくさんの子供たち、教職員が利用したという喜びが、図書担当として、図書環境を整える次の工夫に繋がります。

